

順位表 3/20現在  
基本 5 試合消化時点

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

注：＊印は消化試合が数字分少ない

1	今治	12p	+4	7	3	A○
2	FC大阪	11p	+7	10	3	A△
3	沼津	10p	+7	9	2	
1*4	大宮	10p	+6	8	2	A●
5	岐阜	10p	+5	10	5	---
6	相模原	9p	+2	4	2	
1*7	琉球	8p	+2	6	4	
8	松本	8p	+1	6	5	
9	長野	6p	0	6	6	
10	富山	6p	-1	3	4	
1*11	福島	6p	-2	5	7	HO
12	奈良	5p	-2	4	6	
13	鳥取	5p	-3	5	8	
14	讃岐	4p	-1	6	7	HO
1*15	八戸	3p	-3	3	6	
16	金沢	3p	-8	5	13	
1*17	北九州	2p	-2	1	3	
1*18	岩手	2p	-3	3	6	
19	宮崎	2p	-4	4	8	
20	YS横浜	2p	-5	3	8	

次回HomeGame

第 9 節 vs.カターレ富山

4/10(水) 19:00

@岐阜メモリアルセンター長良川競技場

大酒場 ホームラン

名鉄岐阜駅前（三菱UFJ銀行隣り）  
年中無休 午後 3 時から営業

TEL.058-263-5201

「いらっしゃいませ」より  
「おかえりなさい」が似合う  
アットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』は  
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。  
休：月曜日

今日もここから  
串かつで一杯

煮込み珍道中  
串かつ

14:30 ~ 22:00 (L.O. 21:00)

※売り切れ次第、終了です  
<定休日：日曜・祝日>

TEL. 058-252-1580

忠節橋  
通り

JR 岐阜駅  
北口より  
北西方面へ  
徒歩約 10 分

★ アミカ

ドミー  
イン

JR  
岐阜駅

通算対戦成績	全 6 試合 (J3: 6 試合) 岐阜 2 勝 / 岩手 1 勝 / 3 分け Jリーグ岐阜ホーム戦：0 勝 3 分 0 敗		
直近の対戦結果	2023/11/19 岩手 2-1 岐阜 得点者：山内寛史 J3-36 節 @いわスタ		
ここ 3 試合の 公式戦の 結果	岐阜	2024/03/20 J3-5 節 @里山 S 今治 0-2 岐阜 2024/03/16 J3-4 節 @花園 FC大阪 0-0 岐阜 2024/03/13 ルヴァン杯 @長良川 岐阜 1-2 大宮	岩手 2024/03/20 J3-5 節 @サンアル 松本 1-0 岩手 2024/03/17 J3-4 節 @いわスタ 岩手 1-3 鳥取 2024/03/13 ルヴァン杯 @いわスタ 岩手 1-0 栃木

●2024 年 J3 リーグの開幕 3 試合を 2 勝 1 敗と、まずまずのスタートを切った FC 岐阜。  
3/13 (水) ルヴァン杯 1 回戦・ホーム大宮戦は、お互いに前節のリーグ戦からスタメンを全  
員入れ替えて臨んだ試合。前半から岐阜がチャンスを作りつつゴールを奪えないでいると、大  
宮にセットプレーで先制を許してしまう。その後 #24 栗飯原尚平のゴールで同点に追いつく  
が再び突き放され、1-2 で敗戦。初めてのルヴァン杯は 1 回戦で幕を閉じた。リーグ戦に戻っ  
た 3/16 (土) 第 4 節・アウェイ FC 大阪戦は、お互いにオープンな攻撃をする展開に。若干  
優位に試合を運んだ岐阜だったが、決定機でゴールを奪うことが出来ずに 0-0。そしてアウェ  
イ連戦となる 3/20 (祝・水) 第 5 節・今治戦は、試合序盤から岐阜の攻撃陣が活躍して、#17  
田口裕也が 2 ゴール。その後の今治の攻勢にも、岐阜の守備陣が奮闘して無失点に抑え、2-  
0。開幕 4 連勝中だった首位を撃破することに成功した。

このリーグ戦 2 試合の結果、FC 岐阜の現在の順位は暫定 6 位から暫定 5 位へ上昇。まだシー  
ズンは始まったばかりだが、現在の 1 試合での平均勝点 2 は『J3 優勝・J2 昇格』の目標達  
成に必要な水準で、このペースを維持することが重要だ。今後も油断することなく、着実に勝  
利を掴み勝点 3 を積み上げるために、目の前の 1 試合を最後まで全力で戦うことが求められる。  
そしてホーム・長良川で勝利するチームの姿を、僕ら FC 岐阜サポーターに見せ続けてほしい。  
さて、過密日程 5 連戦の最後となる、今節の対戦相手はいわてグルージャ盛岡だ。2021 年に  
J2 に昇格したものの 1 季で降格。昨季は J2 復帰を目指したシーズンで、序盤は調子が良かった  
ものの徐々に失速、9 月には監督交代もあったが最終順位は 10 位に終わった。そして今季は、  
昨年 9 月から就任した中三川哲治監督が続投するが、主力選手が大量に移籍し、再びイチから  
のチーム作りをするシーズンになっている。#1 大久保保生や #9 都倉賢などのベテラン選手  
を補強したものの、現在の成績は 2 分 2 敗・3 得点 6 失点で暫定順位は 18 位（ただし 1 試合  
未消化）。しかし、どんな対戦相手とも全力で戦わなくては勝利は得られないし、もしも油断  
して足下をすくわれたら、昨季の二の舞だ。

岩手との対戦成績は、岐阜の 2 勝 3 分 1 敗・10 得点 5 失点。直近の対戦である昨年 11/19 (日)  
第 36 節・アウェイ戦は 1-2 で敗戦。J2 昇格の可能性が消滅した非常に悔しい試合だった  
ことは記憶に新しい。そして昨季のホーム戦・7/2 (日) 第 16 節は 0-0。これまでホーム  
戦での成績は 3 分・3 得点 3 失点と未勝利なので、今節は何としても勝たなくてはならない対  
戦相手と言えるだろう。

岩手で最も警戒すべき選手には、#10 オタバー・ケネスを挙げる。現在、リーグ戦で 1 得点の  
ナイジェリア出身 F W は、3/13 (水) ルヴァン杯 1 回戦で J2 栃木を破る決勝点を挙げている。  
また、#23 豊田晃大は瑞穂市出身、トップ昇格した名古屋からの期限付き移籍だ。他にも岐阜  
に在籍していた選手で、#51 深津康太 (2007 ~ 2008 年)、#7 深堀隼平 (2021 年) がいる。  
先術した #1 大久保や #9 都倉、そして #22 西大伍といったベテラン選手にも要注意だ。一  
方の岐阜では、やはり昨季まで岩手に在籍していた #4 阿斐健太郎と #5 石田峻真の活躍に期  
待したい。

2 週間で 5 試合をこなす、5 連戦の最終戦。選手たちの疲労もピークに達しているだろう。そ  
の選手たちの気持ちを奮い立たせ、その一歩を踏み出させるために必要なのは、やはりホーム・  
長良川での僕らの後押しだ。勝利のために最後までひたむきに走り続ける選手たちの背中を押  
し続ける、拍手や声援を送ろう。タオマフやゲーフラなどでスタジアムを緑に染めて、選手た  
ちを鼓舞しよう。そして今節も試合終了の笛が鳴った後は、選手たちと勝利の歓喜を分かち合  
い、“HYPER CHANT” をホーム・長良川スタジアムに響かせよう。

(ささたく)

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

## 【ルヴァン杯】岐阜 1-2 大宮

●今シーズンから一部の J2 チームとすべての J3 のチームにも参加の門戸が開かれたルヴァンカップ。選手入場時のルヴァンカップのアンセムを聞いて、長良川でこれを聞く日が来るとはと少しシミジミ。

さて、試合は週中しかもカップ戦とあって、岐阜はスタメン全取っ替え。えーと、ベスメン規定は？(苦笑)。相手の大宮も知らない選手ばかりで(笑)。

何と言うかお互い守備がザルザルで、ノーガードの殴り合いみたいな内容に。まあそれはそれで面白かったのだけど、個人的には先日新加入が発表された MF 青木拓矢に注目していたのだけれど、特に目立ったところもなく、HT で交代……もう少し長い時間見たかったのだが。現状ではやはり庄司悦大、北龍磨のバックアッパーといった位置づけになるだろうか。あとこの試合で光ったのは、後半途中出場の上野輝人。P S M 名古屋戦で起用された際は、ボールを受けてもバックパスばかりで何もできなかったが、今回はドリブルで縦に仕掛ける、あるいはボールを一旦預けてワンツーで受けてカットインしてみせるなど、チャンスを演出するプレーが多く見られた。こういった動きが続けられれば、ジョーカー的な役割で出場機会を得られる場面も増えてくるだろう。

粟飯原尚平の一時は同点に追いつくゴールは、シュートの前にキックフェイントを入れて、マークに付いた相手を転ばせておいてから打つなど見事なプレー。熊本に行くと彼はサッカーが上手くなってまた岐阜に帰ってきてくれたなあ。負けたら終わりの一発勝負のトーナメント戦なので、後半 A T での C K では G K の後藤大輝も最前線に上がるなど見せ場も作ったが、残念ながら惜敗……。結果は振るわなかったが、出場した選手達には今後に向けて糧になったことと思いたい。そしてカップ戦に敗れし者の言葉をここで。「リーグ戦に集中しよう！」(カップ戦としてはまだ天皇杯があるけれど)(岐阜の誇り)

● J 加入 16 年目にして、はじめての J リーグカップ。ついに僕らにも「ルヴァンパーティ」が許される日が来ようとは…(笑)。そして岐阜も大宮も、直前の試合からスタメンを全員入れ替えたターンオーバー。岐阜は中 2 日だから当然としても、第 3 節が 4/21 (日) で中 10 日の大宮も。そうでなくても今季から過密日程が入る J 3 リーグ、そこにルヴァン杯と天皇杯が入ってくるとなると、どの試合に「より重心を掛けるのか」というマネジメントが重要になる。各クラブのスタンスが明確になるものだなと感じた。

さて試合は、そんなメンバーだから序盤から互いにオープンな展開。少しは今季リーグ戦の出場時間が長い選手が多い岐阜の方が優位だったしチャンスも作れていたと思うんだけど、決められない。スコアレスで前半を折り返し、後半には先制点を…と思えた状況での失点。F K で外に張っていた相手をフリーにしてしまい、狙い澄ましたクロスに合わせられてしまった。非常に勿体なかったし、セットプレー守備の改善が必要だと思う。ここで昨季の岐阜なら無得点で終わってしまう(苦笑)のだけど、今季は違う。再び攻勢に出ると、後半 21 分に P A 内でボールを受けた # 24 粟飯原尚平が、キックフェイントで相手をおかしてノーステップシュートで同点弾！いやー、相手は # 24 粟飯原が左利きだって知らなかったのかしら？

(笑) その後も一進一退の攻防が続き、延長戦が脳裏にチラつきはじめた試合終盤に失点。うーん、防げなかったかなあという思いがある一方で、あれは思い切って仕掛けて逆足を振り抜いた相手を誉めるべきなのかもしれないとも思った。ウチの選手たちにも、あのプレーを選択できるメンタルとテクニックを見習って欲しいものです。再度の同点弾は生まれず、1-2 で敗戦。わずか 2 週間足らずで同カテの相手に 2 回も負けるのは、普段ならば怒りが沸きそうだけれど、まあ大宮が相手だし、試合間隔の不利もあったし。結果以外は楽しめる試合内容だった。(ささたく)

●令和 6 年 3 月 13 日。水曜日のナイト・ゲーム。クラブ史上初めてのリーグ・カップ。先着 1200 余名に配布という、特製ブランケット。入場者数が 2,006 人だったから、貰えたんじゃないかな？たぶん(まだ、見ていない。カラーがウチと違うんで。)屋台村も四天王がいないコンパクトな展開。大宮の皆さんはリーグ戦で再訪してください。全緑の屋台村でお待ちしてます(笑)。

試合は 1-2。キックオフからしばらくの間の、ウチの選手達の固いコト、固いコト。特に DF 陣。ガチガチだったね(苦笑)。ただ、ウチの方はそれなりに公式戦に出たことのあるメンツだったが、相手はウチより現場経験が少ないメンツだったんじゃないだろうか？双方とも似たような試合の入りだったけど、次第にスムーズな展開も出来るようになって、前半はスコアレスのイーブン。固さもありながら、よく凌いだんじゃないかな？ただ、この日のメンツじゃ試合に出てる方だと思う選手が、素人目にもイーージーなミスで 3 回ほどピンチの起点になっていたのは残念だった。

後半の失点場面。壁に立ったのは誰だったか？キッカーから目を外した瞬間にボールを出され、どフリーでの右からクロスにドンピシャ、ズドン。もったいないなあ。それでも、あいチャンが同点弾。切り返してのシュートとか、場数が違っていて感じだったけど、相手 DF が 2 人ともスライディングした時点で決まり。たぶん、左利きって知らなかったんだらうな。違いを見せたあいチャンだけど、ゼイタクを言うなら、ビハインドの終盤、ゴール左からのシュートじゃなく、どフリーの右へパスして欲しかった……。いや、やっぱり、ゼイタクだな(笑)。

残念ながら、初めてのリーグ・カップは初戦敗退。でも、得点も出来たし、終了間際に盛り上がったし、十分楽しめましたワ。難を言えば、せっかく、クラブ・カラーっばい？灯りでライト・アップしてくれてた岐阜城を撮らなかったのがもったいなかった。

さて、これで少しは余裕を持ってリーグ戦に臨めるね。ボクの休暇取得も楽になったよ(笑)。(ぐん)

●岐阜も大宮もメンバーほぼとっかえ。「ベストメンバー条項か……何もかも、みな懐かしい……」と沖田十三(『宇宙戦艦ヤマト』初代艦長)のように呟いてしまうよ。

そんな構成だから、「そんな構成」らしいサッカーで「そんな構成」らしい展開になる。普段はサブメンまたはベンチ外の選手ばかりで構成したチームがレギュラー筋のチームと同じレベルのサッカーが出来るだけの厚さがあつたら、そもそも J 3 になんていません。

そんな中でポジティブな評価するなら、まずは普段からレギュラー筋にいるアイちゃん。北に石田に荒木に文くんをフルに休ませてもアイちゃんをスタメン起用のフル出場にしたのは、彼なしでは試合にならないというところだったのかしら。

もう一人は、P S M 名古屋戦で残念なプレー選択が目についた上野輝人。この大宮戦では縦への推進に強い意識があるプレーが見て取れた。きっと、名古屋戦での自分の出来に思うところがあつたのだろう……と、期待込みで。

結果は 1-2。他会場では J 3 が J 2 を倒すところも少なくなかった(8 会場で『上カテ喰い』が起きた)ので、岐阜が『同格』対決に敗れた(しかも、リーグ戦に続いて大宮に敗れた)のは実に残念。とはいえ、相手はリーグ戦の第 3 節(アウェー福島戦)が 4 月開催になっていて中 10 日、こちらは中 2 日。それも鑑みたら、しょうがないかなというところもある。

(吉田鑄造)

## 【第4節】FC大阪0-0岐阜

●花園ラグビー場のゴール裏最上段……の一つ前の席に座り、改めて「やっぱり、いいスタジアムだな。」と。ココへは両手足の指で足りないくらい来てるハズ。「大阪は思ったよりも近い！」と感じるようになったのは、間違いなく、このスタジアムのおかげだね。とはいえ、ゴール裏で観戦するのは昨季に続き2回目だけだ。

試合はスコアレス・ドロー。今季の初の零封試合。勝ちたかったなあ……。まだ、一回もFC大阪には勝ってないよね。チャンスは間違いなくあった。決め切れなかったのが残念だ。少なくとも、向こうのキーパーには2点防がれちゃったねえ。まあ、向こうにも同じくらいのチャンスはあった。結果は妥当。しかし、ロング・ボールが目立つ試合だった。ただ、ソレは向こうがデザインしたものだと思って、「つきあわなくてもいいゾ！」とか、心の中で叫んでただけど、実は、全くの真逆で、向こうの前プレを回避するために、ウチの方から仕掛けてたの？気づかなかったワ。ロング・スローにハラハラさせられて、『ロング』は全部アチラ側……と思い込んでたのかな？

とにかく、またしても、大阪に勝てなかった。こういう試合で勝ち点3を取れるようになってほしいね。ソレは選手達もわかってくれてるみたい。その点は嬉しい。ただ、休む間もなく、次節、それもアウェイ・今治戦が待っている。2節続けて、首位とのアウェイ。なかなかの逆境……とも思えるが、ココを凌ぎ切れたなら、ソレは自信になりそうな気がする。ガンバレ！FC岐阜！

あ、インジューは代表戦、頑張ってるな。ギャフン！と言わせてくれても問題ないよ（笑）。（ぐん、）

●いわずと知れたラグビーの聖地・花園。2019年ラグビーW杯日本大会のため改修された第1グラウンド。岐阜から日帰りできる距離、しかも駅が近い専用スタジアムに、多くの岐阜サポが押し掛けた。さてルヴァン杯1回戦から中2日、スタメンは再び（ほぼ）第3節と同じメンバーに。そして岐阜のスタイルは、GKも含めてDFラインからボールを繋いで相手を動かして崩してゆくのに対して、FC大阪はシンプルに縦にロングボールを味方に当てて、フィジカル（デュエル）でこじ開けてゆくスタイル。ロングスローも多用していて、まるで昨季J2で優勝した町田のようなサッカー……というのは言い過ぎかしら（笑）。シンプルな戦術であるが故にチームへの浸透は早く、逆に選手間の連携に時間を要している岐阜には、こういう対戦相手は相性が悪い……と思ってただけど、意外にもデュエルで競り勝つ場面も多かった。今季は鍛え方が違うのかなと思うぐらいで（苦笑）。お互いにオープンな攻撃をしていたけれど、決定機が多かったのは岐阜の方だったと思う。特に後半の決定機、あれは#17田口裕也に決めて欲しかった……（利き足の）右にボールを持ち替えたけど、そっちにDFいたよね……（溜息）。その後には#21青木拓矢がリーグ戦初出場。てっきり僕は（役割が被るから）#10庄司悦大と交替すると思い込んでいたから、#16西谷亮とで驚いた。まだ昨季の“ベテランボランチ2人起用”の記憶が鮮明だからかもしれないですね（苦笑）。結局、スコアレスドローで試合終了。勝ちたい試合ではあったけれど、開幕3連勝の相手を無得点に抑えて、アウェイで勝点1をゲット。今後繋がる結果だと信じたい。

ところでFC大阪のゴール裏、ホームなのに100人ぐらしかいなくて、完全に岐阜がホームジャック状態。開幕3連勝していても観客数に繋がらないクラブもあるのね……と、他人事ながら考えさせられるものでした。（ささたく）

## 【第5節】今治0-2岐阜

●春分の日、全国的に寒波が襲来して“春の嵐”の1日。アウェイ今治も例外ではなく、高速が一時通行止めになったり、スタジアムでも大旗やダンマクが禁止されたり。開催中止にならなくてよかった。さてスタメンは、北朝鮮代表に招集された#22文仁柱に代わり左SBが#18小川真輝。そして3/14（木）に期限付きで甲府から加入したばかりの#29野澤陸がCBに入り、#40川上竜はベンチに。そして#10庄司悦大#21青木拓矢の“34歳ボランチコンビ”。開幕4連勝して首位の今治を相手に、なかなか思い切ったというか、かなり挑戦的（実験的？）な布陣変更をしてきたなあ……と僕は思った。

すると、この采配がズバリ的中。前半7分、岐阜が波状攻撃を仕掛け、右サイドに流れたボールに追いついた#5石田峻真が再びゴール前にクロスを上げると、動き直して飛び込んだ#17田口裕也がヘッドで先制点！その喜びもまだ醒めない前半12分、左サイドから#8荒木大吾が入れたクロスが流れたところに再び#5石田が追いついて中央に戻すと、再び#17田口のシュートで2点目！いやー、前節のFC大阪戦で決定機を外した憂さを晴らすかのような活躍！でも、#11藤岡浩介が相手DFを引きつけていたのも良かったし、何より#5石田がチャンスを生み出しているのが素晴らしい。今のところ、「よくウチが獲得できたな」レベルですよ（苦笑）。んで、こんなに順調に得点が奪えると、ホーム讃岐戦の悪夢というか「2点差は危険なスコア」の格言・再びというか……。ところが、あの試合の反省が活きているのか、今節は守備陣が崩れない。#18小川も激しいチェックで左サイドを塞ぎ、高さのある#29野澤がクロスを跳ね返す。2点差がついたから、ちょっと守備的になってトドメの3点目を獲りにいく姿勢は薄れてはいたけれど、開幕4連勝の今治を相手にして、終始安定して試合をコントロールしていたように思う。最後は#40川上を投入して5バックで守り切り、2-0での勝利。前節は3連勝していたFC大阪と引き分け、今節は4連勝の今治を撃破。大宮には負けてしまったけれど、上位対決3戦で1勝1分1敗。まあ合格点ではないでしょうか（笑）。でも、ここで浮かれているはいけぬ。気持ちを引き締め、次の試合、次の勝利に全力で向かって欲しい。（ささたく）

●現地参戦を悩んで、結局、諦めたんだけど、当日早朝からの公共交通機関移動だったら、そもそも、今治に行けたか、どうか。そんな橋も渡れないくらいの強風の中、現地に馳せ参じてくれた仲間への敬意と感謝を伝えたい。お疲れ様でした！ありがとうございました。その気持ち、行動力が報われて何よりでしたね♪

そんな余韻を未だに堪能しているこの試合。ほぼ、完璧な試合でしたね（「ほぼ」を省略したいけど、若干、気になるところがあったので。ゼイタクだとは思）。正直、今季のベスト・ゲームになる可能性もあるような気がする。が、これから、どんどん、今治戦を上回る試合が見たいんで、『ここまでのベスト・ゲーム』に留めておきます（笑）。

さて、この試合。一番印象に残ったのが石田の前のスペース。信号なしのフリーウェイというか、ただけフリーなんだよ、と。いや、ありがとうございました、今治さん、だな。特に2点目のシーンなんかね。荒木もよく見てたし。マーサでアンバサダーも言ったらしいけど、昨季には見られなかったクロスだった。警戒されるだろうけど、是が非でも、そういう包囲網？をぶち破ってのクロス供給をお願いします。それから、インジューの代表選出を受けて左SBで出場した小川。見た目にそぐわない武闘派だなあ（笑）。あと、セット・プレーを任されるくらいの技量があるのか。頼もしいね。スタメン争いも楽しみだな。

何にしても、この試合の肝は『クリーン・シート』だったコトだよな、と。追加点も欲しいが、それよりも無失点。せっかく。2点を先制したのにグダグダになった讃岐戦の体験が

活かせたかな？きちんと予習復習が出来てた……というコトですね。あえて、苦言を呈するなら、ゴール前のクリアはいいにしても、確実にボールキープして欲しい場面での軽いプレーをなんとか無くしてほしいな、と。ムリな体勢からアクロバティックなパスを狙うより、セーフティな繋ぎを意識してもらえたら。それでも、組織的な守備網が構築できてたように見えた。今治が攻め手がなくて最終ラインにボールを戻し、組み立てをやり直す場面も多々あったもんね。そういう場面も評価したい。今週末の盛岡戦以降も期待してますよー！（ぐん）

●現地には行けなかったけど、もし行ったら精神的に激しく盛り上がったろうなあ……という試合だった。2-0のクリーンシートの勝利（※注：クリーンシートは「無失点試合」のことなので、スコアレスドローでも「クリーンシート」なんだとか）。2点はともに石田→田口。もう相手にもバレているはずなのに、なんで石田の前にあんなにスペースを与えてくれるのかしら（笑）。前半で2-0になった時は、「もし田口が前半でまたゴールを決めて『アウェーで3-0』になったら……あ、眩暈が。貧血かな？」（※注：2015/4/11、岐阜3-4東京V）とか思ったけど、3点目を奪うこともなかったけど今季のホーム讃岐戦のように前半で2-2にされることもなく、キチンと試合を終わらせた。外国のサッカー指導者や解説者によると、「『2-0は危険なスコア』？なにそれ、普通に2点リードしてるだけじゃん。日本では違うのかい？」という見解なんだそう（どこかで読んだ）。

これで上位3チームとの対戦を1勝1分1敗で乗り切った。すべてアウェー戦で、だ。ホーム戦を3勝にするのは「サポの仕事」でもある。チームを鼓舞する、スタジアム全体を「ホームチームを鼓舞する方向に誘（いざな）う」のが仕事。ネガティブを広めるんじゃないで、ポジティブを広めよう。

（吉田鑄造）

## 文仁柱が国際Aマッチに出場しました

●3/21（木）、北朝鮮代表に招集されていた#22 文仁柱が、W杯アジア予選・日本代表戦でベンチ入り。後半38分に出場してA代表歴を獲得しました。FC岐阜に在籍した後にA代表に選ばれた選手は、大友慧（2007～2009年在籍、2014年フィリピン代表）、朴基棟（パク・キドン：2010年在籍、2011年韓国代表）、エセキエル・ハム（2018年在籍、2023年シリア代表）、そして古橋亨梧（2017～2018年在籍、2019年日本代表）がいますが、岐阜在籍中にA代表に選出されたのは、これまでフレデリック（2019年在籍、ガボン代表）だけ。公式戦に出場したのは#22 文仁柱が初となります。ムン選手、おめでとう！そして今後も活躍を期待しています！（ささたく）